

第160回 汽水域懇談会

新生代における熱帯海洋生物多様性ホットスポット Hotspots of Cenozoic tropical marine biodiversity

参加希望者は以下に登録をお願いします。(1/18 (水)正午締切)

<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/kisui160>

日時:2023年1月20日(金) 17:00 -18:00

場所:ハイブリッド開催(16:30からzoomを開設)

(センター 2階セミナー室とzoomを併用)

安原 盛明 博士(理学) 香港大学生物科学学院 准教授

【講演概要】

熱帯域における海洋生物多様性ホットスポット(生物多様性が非常に高い地域)は現在ではIndo-Australian Archipelago (IAA) またはcoral triangleと呼ばれる東南アジアを中心とする熱帯西太平洋沿岸域に存在するが、海洋生物多様性ホットスポットの位置は新生代を通じて大きく変化してきた。具体的に言えば、かつては西テチス海に存在したホットスポットが、東向きにはアラビア半島を通じ、最終的にはIAAに移動し、西向きにはカリブ海に移動した。しかしカリブ海ホットスポットはその後の絶滅イベントにより多様性を大きく低下させた。本セミナーでは、このような新生代における海洋生物多様性ホットスポットの変遷を概観し、その変動メカニズム、将来の研究展望などを議論する。

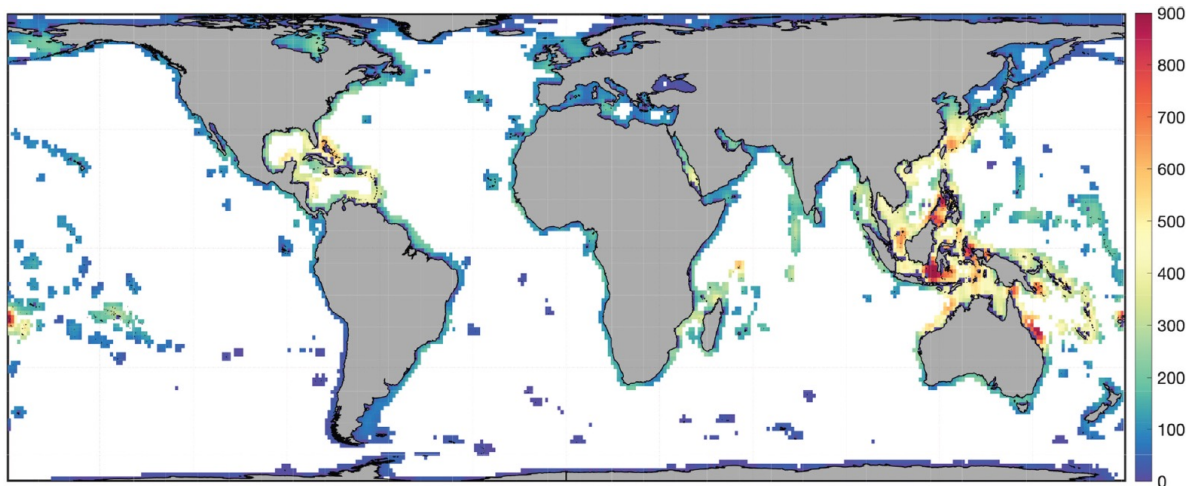


図1 海洋種多様性分布

お問い合わせ: 島根大学 研究・学術情報本部 エスチュアリー研究センター
教授 齋藤 文紀 Tel 0852-32-6099